めんどうな計算も一瞬で実行

　パソコンもコンピュータの一つです。コンピュータはもともと電子計算機と呼ばれていたぐらいで、計算は非常に得意です。人間ではとてもできないような複雑な計算を、たちどころに行ってしまいます。

　その計算用のソフトが「表計算ソフト」です。スプレッドシートとも呼ばれます。

　皆さんも電卓を使用したことがあるかとは思いますが、電卓は０～９までのボタンと足し算ボタンや引き算、かけ算、割り算など記号のボタンが並んでいます。このため、小学生でも計算できるようになっています。　ところが、パソコンの表計算ソフトは、電卓とはちょっと構造が異なります。セルと呼ばれる入力欄に数字を入力し、さらに、計算式を設定しなければなりません。この計算式の設定がちょっとめんどうです。めんどうですが、いったん設定してしまうと、セルに入力した数値を変更しても、すぐに再計算して新しい値を導き出します。これが表計算ソフトの便利なところです。

　さらに、表計算ソフトではセルに入力した値や計算して出した値をグラフ化できる機能が用意されています。数値を入力して計算、さらにグラフ化。売上状況を一覧にしたり、分析したり、シミュレーションしたりと、最近では、表計算ソフトは欠かせない存在となっています。ビジネスだけでなく、家庭でも家計簿や住宅ローンのシミュレーション、教育資金の計算など多彩な活用が可能です。

　ソフトではマイクロソフトの「エクセル」が有名です。